



# 駐屯地餅つき



祝い餅つき (年男・年女)



駐屯地司令挨拶



祝い餅つき



各部隊等を巡回



来賓挨拶  
(後援会会長 青木様) (協会会長 針谷様)



開会式

平成二十八年十二月二十二日、天気にも恵まれ、駐屯地において「年末行事」が行われた。初めに、駐屯地厚生センター前において開会式を実施した。開会式では、当初、駐屯地司令が挨拶し、次に来賓祝辞として、後援会会長 青木正夫様から挨拶を頂いた。その後、祝い餅つきを来賓の方々及駐屯地部隊長等及び隊員代表として二十九年の年男・年女によって行われ、会場がおいに盛り上がった。開会式終了後は、駐屯地司令が各部隊等を巡回し、一年の労をねぎらった。来賓の方々には、駐屯地案内ツアーを終えた後、駐屯地司令以下団本部隊員と会食を行い、協力会会長(古河市長) 針谷力様から挨拶を頂き、懇親を深めた。各部隊等は、それぞれの場所でのBや隊員家族との会食を行い、楽しい時間を過ごし、盛会のうちに終了した。



記念品贈呈



新成人 13名



新成人抱負発表 (高橋士長)



駐屯地司令式辞

祝!  
新成人祝賀行事



激励の言葉  
(石山士長)



謝辞  
(高橋技官)

平成二十九年一月十三日、古河駐屯地新成人祝賀行事を体育館で実施し、新成人十九名の前途を祝った。祝賀行事においては、隊員家族が見守る中、全員で国家斉唱を行ったのち、駐屯地司令が式辞を述べ、隊友会古河支部長 内藤勝義様からご祝辞を頂いた。その後、新成人を代表して関東補給処古河支処 高橋士長が抱負として、「社会人としての責任と自覚を持つ」など、二十歳となった現在の誓いの言葉を述べた。祝賀行事後、駐屯地食堂で祝賀会食を実施し、新成人達は、多くの来賓・家族から祝福を受けた。会食の最後には、先輩隊員代表として石山士長から「ともに頑張ろう」と激励の言葉をもらい、高橋技官が「日々努力します」と謝辞を述べた。午後からは、古河市内の篆刻美術館で篆刻を体験し、一文字を石に彫り成人の記念として印鑑を作成し、祝賀行事を終了した。

# 茨城県自衛隊殉職隊員追悼式

十月七日、勝田駐屯地において殉職隊員追悼式がしめやかに行われ、古河駐屯地を代表して、駐屯地司令及び各部隊等の代表者が参列し、鎮魂の祈りを捧げた。当日は、慰霊碑参拝に引き続き、追悼式典が執り行われ、黙祷が捧げられた後、遺族・茨城県知事をはじめ来賓の方々・各駐屯地司令等が献花を実施した。終わりに、儀仗隊による弔銃が行われ、殉職隊員のご冥福を祈る銃声が会場に響き渡り、式は厳粛に行われ終了した。



追悼式会場



献花



弔銃

# 転入部隊長・転入者の紹介

十二月一日付で一名、二十日付で転入部隊長等を含め三名の隊員が、新戦力として古河駐屯地に転入した。



業務隊長 中山 1 佐



転入自衛官 3 名

# よかんべ祭り

十一月五日及び六日の二日間、駐屯地は、古河市で実施された「古河よかんべ祭り」を支援した。イベントのひとつとして、自衛隊車両の展示依頼を受け、駐屯地隊員九名が参加し、小型トラック・偵察用バイク・炊事車両の展示、迷彩服・防弾チョッキ試着・パネル展示コーナーを設け広報活動を実施した。来場者は、普段見られない自衛隊の装備品や写真パネル等に興味津々の様子で熱心に説明を聞いていた。子供達は、迷彩服に着替え、車両等に乗り込んだり、記念写真を撮ったりと楽しそうに見学していた。



展示車両と記念撮影



来場者で賑わう会場



パネル展示

# 古河駐屯地司令杯

十二月十八日、駐屯地曹友会は「古河駐屯地司令杯小学校バレーボール交流大会」を開催した。今大会は、近隣住民との交流を図り、自衛隊及び駐屯地に対する理解と信頼を向上することを目的として近隣小学生を招待して実施した。

当日は、駐屯地司令、茨城県小学校バレーボール連盟会長の挨拶の後、小学生代表による力強い選手宣誓で幕を開けた。大会は、二ブロック八チームによるリーグ戦を実施し、どのチームも白熱した試合を繰り広げた。また、休憩時間等には広報展示室や展示車両の見学を行い、試合での緊張もほぐれ、笑顔をのぞかせていた。



選手宣誓



試合状況



展示車両見学

# 定年退官者(予定)の紹介



団本 高桑 3 佐  
2月6日付



支処 平野 曹長  
2月27日付



団付 吉岡 曹長  
3月1日付



支処 永井 曹長  
3月1日付



支処 古川 1 尉  
3月17日付



支処 荒川 事務官  
3月31日付



支処 山口 事務官  
3月31日付



支処 渡邊 曹長  
4月13日付

# 関東補給処古河支処



DSに対する技術支援



予防整備実施

十一月二十日から二十九日までの間、平成二十八年度秋季東富士演習場定期整備を支援した。

期間中、前方支援訓練を実施し、指揮所開設運営の一連の行動を演練するとともに、野整備部隊等との協同連携により、演習場整備器材等の可動を維持する等、同定期整備の成功に寄与した。



選手の力走



駐屯地朝礼にて成績紹介

十一月十七日、爽やかな秋晴れの下、霞ヶ浦駐屯地において、関東補給処持続走競技会が実施され、支処長以下八十五名全員が団体の部Aグループ連覇を目指し、力走した。

結果は、「準優勝」であり、僅差で連覇を逃したが、競技会に向けた練成等を通じて、支処の団結の強化と士気の高揚を図ることが出来た。支処は、引き続き練成を重ね、来年度は捲土重来で優勝旗の奪還を目指す。

# 古河駐屯地業務隊



着任式

十二月二十日、第三十代業務隊長として中山一佐が着任した。

統率方針を「支援任務の完遂」として、一部隊・隊員の為に積極支援に徹して任務に邁進する所存である。」と着任の決意を述べた。

十月十二日、東北方面隊の第五高射特科群の車両部隊に対し、給油支援を実施した。

古河駐屯地は、大規模災害発生時における通過部隊支援を実施する中継駐屯地となることから、今回の支援を良い練成の場と捉えて対応した。

これに限らず、今後とも駐屯各部隊に対しても指定時やドラム缶交付等、要望があれば何時でも部隊のニーズに対応していく。



夜間給油支援



餅つき

十二月二十二日、年末行事（部隊家族間コミュニケーション）を実施して、餅つき・懇親会等を通じ、隊員相互の融和団結及び士気の高揚、部隊と隊員家族（五家族十二名）及びOBとの相互信頼及び親睦を図った。



訓練状況

十一月一日、秋季駐屯地火災予防週間に参加し、防火態勢を整備するとともに、隊として、消火器を用いた初期消火訓練を実施して、初期消火能力の向上及び防火意識の高揚を図った。

# 第101施設器材隊



優秀隊員



訓練状況

十二月十五日から十九日までの間、連日厳しい寒空の下、古河駐屯地において、架橋中隊訓練検閲を実施した。

中隊は、中隊長 青木一久一尉の卓越した指揮・統率のもと、隊員一丸となってMGB及び三種混合橋の構築を行い、方面唯一の高度な技術と能力を有する専門部隊として日々着実に技術を練磨し施設技術能力を遺憾なく発揮し、任務を完遂した。また、統裁官要望事項であった「指揮の要訣の実践」「施設科精神の徹底」の具現実行により一件の事故も無く、所命任務を完遂し検閲評価は「良好」であった。



警戒訓練



整備状況

十一月十八日から二十九日の間、平成二十八年度秋季東富士演習場定期整備に参加した。隊は、宿営地においてPKO等想定下における警戒訓練及び入会九号排水設備の構築並びに各部隊に対する機力支援等を実施し、団の任務達成に寄与した。

この際、各級指揮官の指揮能力及び機械操作等の施設技術の向上を図った。

また、安全統制事項を厳守するとともに、隊員一人一人がその地位役割を理解し、一致団結して一件の事故も無く任務を完遂した。

# 第301ダンプ車両中隊



断郊走で優勝目指し走る隊員達



団長より表彰を受ける矢島2士

十二月六日から八日までの間、平成二十八年年度団戦技練成会に、中隊長以下の隊員が断郊走、漕舟、銃剣道及び炊事練成会に選手として出場し、それぞれの成果を収めた。

特に、銃剣道個人戦、幹准曹の部で小野三曹が第二位、女性の部においては、矢島二士が第一位、また、炊事練成会では第一位の成果を収めた。

中隊一丸となり団結、士気を高めるとともに、来年度の戦技競技会に向けた訓練の姿を得る事が出来た。

# 第102施設直接支援大隊



観閲式にて疾走する塗装装備品及び塗装状況

十月二十三日、朝霞駐屯地で実施された平成二十八年年度自衛隊記念日観閲式に参加する第一線部隊の装備品塗装を実施し、観閲式の整齊円滑な実施に寄与した。



整備支援状況

十一月二十日からは二十九日までの間、平成二十八年年度秋季東富士演習場定期整備に参加した。

整備支援隊の編成にあたっては、全般支援大隊の支援を受けて部品整備機能を増強し、第一線部隊の装備品の可動率向上に寄与した。

# 320基地通信中隊 古河派遣隊



施設巡視をする中隊長 久々江1尉 (中央)

十一月十八日、第三二〇基地通信中隊 総合隊務指導を受検した。中隊長である久々江一尉により、派遣隊の隊務運営が正規適正に行われていること、また、施設巡視では、各通信施設や倉庫・営内の点検が実施され、環境整備の状況についても整然と行われていることを確認して頂いた。



歩哨壕の作成

十二月十三日から十六日の間、二月に予定されている方面訓練検閲に備え、第三回群統一訓練に参加した。

歩哨壕の構築では、土嚢作りも含め、初めて歩哨壕構築をした若年隊員もおり、四苦八苦する様子もあつたが、無事完成させることができた。

また、群統一訓練についても、派遣隊としての基本的行動、各個人の基礎動作を再確認し、各個の練度向上に資することができた。今後は、二月の検閲本番に向け、万全の準備を進めたい。

# 第337高射中隊



中SAM中隊として23名参加



観閲行進

十月二十三日、朝霞訓練場で平成二十八年年度自衛隊記念日観閲式が盛大に行われた。

中隊からは、中隊長以下二十三名、中SAM等の車両七両が高射特科部隊中SAM中隊として参加した。

一糸乱れぬ高い練度への到達を目標として、九月二十七日から訓練を開始し、観閲式当日は、自衛隊最高指揮官である内閣総理大臣のもと、各隊員は使命をより深く自覚し部隊・隊員の士気が更に高揚するとともに、練成の成果を遺憾なく発揮して自衛隊に対する国民の理解と協力を深めることに寄与した。

# 曹友会



職場対抗リレー



綱引き大会



厚生労働大臣表彰式

茨城県古河市総和地区市民運動会にて職場対抗リレーに参加し、第二位の成績を収めた。

第二回古河市綱引き大会に、駐屯地の隊員で編成された二チームが参加し、ともに二位・五位と健闘した。

駐屯地は、曹友会が主体に実施している献血活動への協力に関して、永年の貢献が評価され厚生労働大臣から表彰を受賞した。

# 第341会計隊



雪の中、力走する選手達

十一月二十四日、朝霞駐屯地で行われた持続走競技会に参加した。

十一月では、数十年ぶりとなる雪が舞う悪天候の中、参加した隊員は持てる力を遺憾なく発揮し、それぞれの成果を残した。



優秀隊員 中内士長

十一月十八日から二十九日までの間、演習場定期整備会計同行支援班として、湯淺三尉、嶋田三曹、中内士長が参加し、整備隊に必要な借上器材に係わる調整、糧食品現地調達及び緊急調達対応等を実施した。

第一施設団長より、優秀隊員として、中内士長が表彰を受けた。